



54A・32F

BY KINDAI KASEI

エポキシ樹脂は熱硬化性樹脂であり、主剤と硬化剤が反応して硬化した皮膜が結合材となり、自然石樹脂舗装や樹脂モルタルに使用されます。

エポキシ樹脂は、熱によって反応が速くなり、低温では反応は遅くなります。このため季節に応じて反応速さを調節し、施工しやすいように型があります。

● 特長その1 可撓性である

樹脂舗装用エポキシは、主剤と硬化剤の反応性成分の中に、可撓性を有する構造を持ったモノマーが化学結合してポリマーになり硬化するので、非反応性材料によるものとは異なるねばりある伸び率、靱性を有し、舗装用樹脂として下地への追随性、クラック防止が期待できます。

● 特長その2 難黄変である

樹脂舗装用エポキシは、硬化剤の成分を黄変しにくい脂環式アミン類を主体としているため、硬化物は黄変しにくく舗装における骨材の色調を保持します。

● 特長その3 疎水性である

樹脂舗装用エポキシは、硬化剤を疎水性に改良することによって、水とのなじみ性がなくなり、水と分離し、施工後の降雨等によって白化を引き起こすことなく、水による障害の少ない舗装用バインダーであります。



自然石樹脂舗装
(石種：アジミカゲ)



樹脂モルタル舗装
(緑)



施 工 方 法

着 工 前



完 成



石種：錦



石種：猿投

項 目		54A		32F		測定方法
		測 定 値	社内規準	測 定 値	社内規準	
可使時間	10℃ (min)	42~44	30~60	29~31	20~40	200 g スケール
	25℃ (min)	12~14	10~20	8~9	5~15	〃
硬化時間	10℃ (hr)	15~17	12~20	7~10	6~12	200ミクロン厚
	25℃ (hr)	6~7	4~8	2~4	2~5	〃
硬度	ショアーD	65	63~68	78	75~80	JIS K 7215
引張り強度	N/mm ²	3.4	2.5以上	10.3	5.0以上	JIS K 6911 5.18
引張り伸度	%	94	50以上	64	30以上	一号験片 K 7113 5
圧縮強度	N/mm ²	31.3	25.0以上	51.9	30.0以上	JIS K 6911
接着強度	軟鉄/軟鉄 (引張接着) N/mm ²	3.1	2.5以上	6.4	3.0以上	ASTM D 897
	セメコン/セメコン (曲げ接着) N/mm ²	4.3	3.0以上	6.1	4.0以上	JIS R 5201
配合比	主剤：硬化剤	5：4 (質量比)		3：2 (質量比)		

製 造 元

株式会社 近代化成

〒470-0162 愛知県愛知郡東郷町大字春木字小坂141-2

TEL: 0561-38-5100 FAX: 0561-38-1270

URL: <http://www.kindai-kasei.co.jp>